

第9回 くすりのしおりクラブ会議 議事録

開催日時：2016年1月29日（金）13：30～16：30

開催場所：大手町サンスカイルームA室

出席者：くすりのしおりクラブ会員担当者 95名（71社）

関係者（事務局含む） 17名

計112名

【挨拶】 一般社団法人くすりの適正使用協議会理事長 黒川達夫

【議事】

1. くすりの適正使用協議会 くすりのしおりコンコーダンス委員会報告

（くすりの適正使用協議会 宮武委員）

＜参考資料：スライド資料、参考資料1＞

・コミュニケーション促進動画（入院編、在宅編）の作成・公開

「くすりのしおり®」を活用した薬剤師と患者とのコミュニケーション動画「一緒に話してみませんか？あなたと薬のこと」（入院編、在宅医療編）の動画作成の報告がなされた。

学会のブースにてコミュニケーション促進動画の紹介、クレデンシャル誌に「英語版くすりのしおり®」、コミュニケーション動画（在宅編）の広告を掲載し啓発活動を行った。動画に対するアンケート調査及び評価は現在実施中である。

・学会活動

第9回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会、第18回医薬品情報学会学術大会、第8回日本在宅薬学会学術大会、第48回日本薬剤師会学術大会に発表またはブース出展し、薬剤師のコミュニケーションやくすりのしおりの現況について報告した。

その結果、薬事日報において薬剤師の「コンコーダンス」認知度の記事が掲載された。

来年度も同様に4学会ほど発表・ブース出展を予定している。

・くすりのしおり®作成基準の改訂

くすりのしおり作成基準（第四版）の改訂が報告された。主な改訂点については、参考資料1の通り。

2-1. 「くすりのしおり®」の利用状況と今後について（有限会社レーダー出版センター黒川）

＜参考資料：スライド資料、参考資料2、3＞

・くすりのしおり®利用状況と今後について

くすりのしおりクラブ会員は10社増加し、傾向として専門領域に特化した企業の入会があったことが報告された。HP掲載数は順調に伸び2015年12月末時点で日本語版15,041品目となり、特に英語版は4,985品目であり、2016年1月時点で英語版は5000件を突破した。「く

すりのしおり®」データ利用については、電子版お薬手帳の引き合いが多かった。（参考資料3参照）

その他、パナソニックヘルスケア株式会社のレセプトコンピュータにおいて、英語版データの利用が始まった。その他、英語版データの引き合いが数社あるため、来年度英語版利用企業の増加が見込める。

日本語版アクセス数（2015年1月～12月）上位1000位中英語版の有無を参考資料2にまとめたので、ご確認していただき、英語版の無い製品については作成をお願いしたい。

2-2. 「くすりのしおり®」のシステム関連について（有限会社レーダー出版センター黒川）

＜参考資料：スライド資料＞

- ・くすりのしおりHPのスマホ対応を本年度中に予定している。また来年度、くすりのしおりHPの検索機能強化を予定している。

2-3 英語版くすりのしおり®について（くすりの適正使用協議会 片山）

＜参考資料：スライド資料＞

- ・「英語版くすりのしおり®」ガイドライン第三版完成
ガイドライン第三版が完成した。統一性の確保、より簡単で分かり易い英単語の選択を行った。
- ・英語版くすりのしおり®をとりまく環境変化
業界メディア二誌が英語の医薬品情報に関する特集記事を掲載していることを報告した。また第48回日本薬剤師会学術大会学会のポスター発表内容を引用し、英語版医薬品情報の状況として、必要だが参考にする英語版医薬品情報が整っておらず、「英語版くすりのしおり®」が有用であることが報告された。

※質疑応答

なし

【講演】1. 『英語対応薬局で拓かれた医薬品情報の新たな領域』

株式会社ダイチク(アイングループ)

県央Aブロック ブロック長 井上 幹雄 先生

【講演】2. 『医師から見た薬剤師と医薬品情報の新しい関係』

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長

一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長 狭間 研至 先生

以上